

最終電車は次の街へ

【脚本・演出】滝沢正光

【登場人物】

海江田信（工場勤務）

●出身は九州の田舎街、18で飛び出し上京。人間関係で上手くいかず、職を転々とす。流れて辿りついた先が烏山町。

茂木泰子（保険営業）

●外資系の保険会社にスカウトされ就職。

最初は家族や親戚、友達と契約が取れるが、それ以降が丸っ切り契約が取れない。親戚や友だちに紹介を受けるも、なかなか上手くいっていない。自分が良くなるにはと、いろいろ探している。

土橋真一（大学生）

●烏山大学4年生。夢が持てない現代っ子。無難に仕事して、結婚して、悠由自適に人生をやりたいと思っている。

望月文音（美容師）

●美容師になって5年目、それまでは下働きで苦労を重ねている。いつかは原宿で店を構えるのが夢。

山口絵美（都内のOL）

●旅行代理店勤務。美矢子の娘。父親が危篤だと聞いて掛けた。

長谷川豊（駅長）

●からすやま駅の駅長。父親が駅職員だったことから影響を受けて駅長になる。鎌倉出身。非番の日は海でサーフィンをしている。

山口美矢子（OLの母親）

●絵美の母親。夫の癌が再発し困惑している。

池沢幸恵（小料理屋の女将）

●一緒に小料理屋を営んできた、夫は半年間、闘病生活で介護を続けるも、10年前に他界。夫が生きがいを守ってきた小料理屋の後を継ぎ切り盛りしている、

【SE】雨が降っている。

○とある田舎街の駅の待合室。23時を回ったところ。

【SE】黒電話が鳴る。

○駅長、長谷川豊が受話器を取る。

最終電車は雨の影響で遅くなる事を知らされる。

長谷川

はい、こちら烏山駅長室・・・はい、長谷川は私です・・・はい・・・
そうですか見通しがつかないんですね、わかりました、ご苦労様です、

○受話器を置く長谷川。

待合室にはベンチ椅子に座っている、海江田信（まこと）と、テーブル席に居る山口美矢子。

長谷川、電話での会話が終わり、待合室の二人に知らせる。

長谷川

あの、すいません雨の影響で電車が遅れています。復旧作業しているんですが、結構、時間かかるみたいです、

○海江田、電車が遅れる事に愚痴る。美矢子、何やらソワソワし出す。

海江田

今日はついてないなあ（ため息）

長谷川

何かありましたか？

海江田

いや、なんでも無いです、

長谷川

そうですか、

美矢子

駅長さん、電車、どれくらい遅れるんですか？

長谷川

さっきの電話の様子だと、30分は掛かるかもしれないですね、

美矢子

30分ですか・・・

海江田

これから夜勤なのにまにあうかなあ・・・

長谷川

夜勤!?大変ですね!もし職場に連絡するなら言ってください、うちの電

最終電車は次の街へ

海江田
話お貸しします、
ありがとうございます、

長谷川
最近この時間に居ますね、この近くで働いているんですか？

海江田
いや引越してきたばかりで隣駅にある工場で働いているんです、

長谷川
隣駅って言うのとビール工場ですか？一度だけ見学したことがあって、

私はビールに目がないものでして最高でしたね、いろんなビールがある
んで楽しかったなあ、

海江田
僕は飲めないんで全然楽しめないんです、

長谷川
あああら、それはお気の毒ですね、まあでも頻繁に仕事で飲まないんで
しょ？

海江田
飲まないですけど、ビールの匂いがあるんですよ

長谷川
いやあーたまらないですね、羨ましいなあ

海江田
ビールって何がそんなに美味しいんですか？

長谷川
何が美味しいかって、あのきめ細かい泡と苦味のハーモニーがいいんで
すよね、

海江田
僕、飲めないから、よくからかわれたり笑われたりするんですよ

長谷川
てつきりビール好きしか働いてないんだと思ってましたが違うんですね

海江田
駅長さんは電車が好きなんですか？

長谷川
そうでもないですね、うちの父親も駅の職員で小さな街で働いていまし
た。休みになると、いつも私をバイクに乗せて操車場へ連れて行くんで
す、黙ったままタバコをふかして、ずっと蒸気機関車を見てるんです、

海江田
へえー

長谷川
そして踏切を渡ると、そこには川が流れていて、その向こう側には織
維工場があつて母親が働いていて、よく迎えに行きました、そして三
人で家に帰るんです、

海江田
いい家族ですね、

長谷川
いやあー家は貧しかったですけど、今、思うと楽しかったですね（笑）
駅長さん、

美矢子
はい、

長谷川
そんなことより電車、まだ来ないんですか？

長谷川
ええ、先ほど連絡が来たばかりですからね、もう少しかかるかと、

【SE】美矢子の携帯が鳴る。

美矢子 ……はい、もしもし

絵美（声） あっ、お母さん？

美矢子 絵美、今、何処にいるの？

絵美（声） 電車の中、

美矢子 それは分かってるわよ、電車、何処で止まってるの？

絵美（声） 何処だろう、駅みたいだけど……

美矢子 駅の看板とかないの？

絵美（声） あっ、あった、小埜（こばな）って書いてある、

美矢子 あと2つで到着するわね、

絵美（声） お母さん、ごめんね、遅れちゃって……

美矢子 いいのよ、仕方ないわ、

絵美（声） もう少しで到着するから待っててね、

美矢子 うん、待ってるから、

○美矢子、絵美との会話が終わり、携帯を切る。

○そこへ、保険営業の泰子（やすこ）が息を切らせながら登場。

泰子 良かった、間に合った、（ゼエゼエ）

長谷川 電車、雨の影響で遅れてます、お待ちください、

○長谷川、業務に戻る。

泰子 走って損した、あっ、美矢子さん偶然ですね、

美矢子 あら、泰子ちゃん偶然ね、

泰子 こんな時間に、どうしたんですか？

美矢子 娘の絵美を待ってるのよ、

泰子 ああ、この間、話していた娘さんですね、今から来るんですか？

美矢子 そう、もうそこまで来ているんだけど、電車が止まっちゃって

泰子 それは、それは大変ですね、

美矢子 泰子ちゃんは、今から帰るの？

最終電車は次の街へ

泰子 ええ、そうなんです、遅くなっちゃって、

美矢子 こんな時間までかかるの？

泰子 つい1人のお客様と長く話しちゃって・・・でも、どの人も契約にまで
いかないんですよ、

美矢子 それは、それは泰子ちゃんも大変ねえ

泰子 いいえ、大変だなんて思ったことないんです、

美矢子 ええっ、そうなの？

泰子 わたし、お客様と話していると楽しくて楽しくて、時間をわすれちゃっ
て、

美矢子 楽しめることは、いいことね、

泰子 お客様に対しては、常に真摯に向き合うのが、わたしのモットーなん
です、

美矢子 えらいわねえ

泰子 真摯に向き合えば、お客様も本音を話してくれるんです、そうすれば、
その人が本当に必要なものが何か見えてくると思うんです、ピッタリ
の商品とかプランとか、提案したものでお客様を満足させる自信があるん
です、なのに何故か契約がうまくいかないんです・・・何がいけないん
でしょう・・・楽しかったはずなのに、考えすぎて夜も眠れなくなっ
てきて

美矢子 そういう仕事だもの、上手くいかないことだってあるわよ、

○ずっと聞いていた海江田、二人の話に入ってくる。

海江田 あのう、

○泰子、美矢子振り向く。

海江田 何を売っているんですか？

泰子 私ですか？保険ですけど・・・

海江田 保険。今日のお客様は、何時から何時まで会っていたんですか？

泰子 夕方5時から、夜10時までの約束です、

海江田 それで何時まで話していたんですか？

泰子 もちろん10時までですけど、

美矢子 5時間もよく喋れるわね、

海江田 10時までの約束で、10時まで世間話してたら、契約の話なんかできないんじゃないですか？

泰子 はっ！

美矢子 ！ 原因が分かって良かったわね（笑）

海江田 今、気づいたんですか、

泰子 そうか、そうだったのか、どうりでいつも時間が足りないと思った、

美矢子 じゃあ、時間配分をしつかりすれば完璧ね！

泰子 ありがとうございます、これで今日はぐっすり眠れます、明日からバリバリ契約取って行きます！！

海江田 楽観的ですね

泰子 人からは、バックミラーが無い楽観主義だねと言われます、

海江田 どう言う意味ですか？

泰子 なんでも運転している車に、バックミラーが付いていないそうです、

海江田 はあ？

泰子 後ろは振り向かない、前だけを見て運転しているってことですね（笑）

海江田 羨ましいなあ、

泰子 そうですか？私は気にしたことないですけど、人生楽しいが一番ですから、

海江田 ……

泰子 楽しくないんですか？

海江田 ええ、まあ、あまり……

美矢子 あなた、えーつと

海江田 です、

泰子 海江田さんは、お仕事は何されてるんですか？

海江田 仕事、仕事は……

美矢子 そういえば、ビールがどうか言っただけじゃなかった？

泰子 飲み屋さん？もしかしてバーテンドー？かっこいい、

海江田 いや、そんなんじゃない……ただの工場勤務の派遣です、

美矢子 ああ、この先のビール工場って言っただけね、

泰子 ビールを作ってるんですよ、凄いじゃないですか！

海江田

すごくなんかいいです、昨日も上司に怒鳴られるし、同僚にはバカにされるし自分のダメさ加減に嫌気が差していたとこなんです・・・このままでいいのかなあ・・・

泰子

海江田さんも、今の仕事が上手く行っていないんですね、

海江田

今だけじゃないんです、どの仕事も長続きしなくて、職を転々としているうちに、今の工場へ、そして、たまたま紹介されたのがビール工場なだけだし・・・

美矢子

やりたい仕事とか無いの？

海江田

特には、別に・・・

泰子

私も最初から保険の仕事をやりたかったわけじゃなくて、たまたま入社したんです、最初は家族や友達が入ってくれたんですけど、その先はなかなか新しい契約に繋がらなくて、でも、お客様と本音で話すようになってからは凄く楽しいし、やりがいを感じてるんです、その結果、いつも話だけで終わっちゃうんですけどね（笑）

海江田

へえ、それは貴方が話すのが好きだから楽しいと思えるんですよ

泰子

楽しいだけじゃないんです、保険って本当に大事なんですよ！もしあなたの身に何かあった時に保険は貴方だけじゃなくて、残された貴方の家族も助けることができるんです、

海江田

はあ・・・

○美矢子、突然、泣き出す。

泰子

美矢子さん、どうしたんですか？

○美矢子、泣き続ける。

泰子

ごめんなさい！わたし何か悪いこと言いましたか？ほらっ海江田さん、あなたも謝って！

海江田

えっええー、すみません・・・

美矢子

違うの、実はうちの主人が・・・癌が再発したのよ、それでこの先のことを考えると・・・例え保険が降りたとしても、アタシ・・・

○美矢子、再び泣き出す。

泰子

美矢子さん、きっと大丈夫ですよ！保険と言っても死亡保険だけじゃないし、介護保険や、入院費1日目から降りますから！

○美矢子、死亡という言葉に、さらに泣き出す。

泰子、慌てふためき海江田に助けを求めろ。

海江田

・・・（泰子から目をそらす）

泰子

薄情者！

幸恵

長谷川さん！夜食持ってきたわよ（袖から）

○そこへ池沢幸恵が登場、幸恵、美矢子が泣いている事に驚く。

幸恵

あらっ、美矢子さん、どうしたの！

美矢子

うちの主人が、主人が、死亡保険が！

泰子

旦那さんの病気が再発したらしくて・・・

幸恵

再発ってまさか・・・前に入院していた・・・

美矢子

アタシ、アタシ、どうしたらいいか！

幸恵

美矢子さん、気持ちは分かるわよ、話したこと無かったけど、うちの主人は癌で亡くなっててね、癌を発見した時は、だいぶ進んでいて、あの時は取り乱したわ、でもね二人でキリ盛りしてきたお店もあるし、息子や店の常連さんにも助けられて、今はなんとかやっているわ、美矢子さん、大丈夫よ！絵美ちゃんいるし、二人で旦那さんを支えていきなさいよ！私達も力になるから！

泰子

そうですよ！わたしもお手伝いします！

海江田

・・・

美矢子

二人とも、ありがとう！そうよね、わたしすっかりしなげや！

○美矢子、幸恵の話しに力付けられ泣くのを止める。

そこへ駅長、長谷川が待合室に登場。

最終電車は次の街へ

長谷川 幸恵さん、お待たせしました！ちょうど手が離せなくて
長谷川さん、良かった、今日の夜食はカレイの煮付けよ！
長谷川 カレイの煮付け！おおっそれは楽しみだなあ！

○駅長 長谷川、幸恵から夜食を受取る。

幸恵 それじゃー私、行くわね！

○幸恵、待合室を後にする。

駅長 長谷川、3人にもうすぐ電車が到着することを知らせる。

長谷川 今、連絡が入って、電車が復旧しました、もうすぐ到着しますよ！
幸恵 良かった！じゃあホームで待ちます！海江田さんも行きませよね？
海江田 えっ！あつ、はい、じゃあ・・・

○幸恵、海江田、改札口へ移動、長谷川、改札に入る。

長谷川 ホイホイホイホイ。切符拝見！

○幸恵、海江田、長谷川に切符を見せ、ホームに入る、

【SE】踏切の警笛が鳴る。電車が到着する。

長谷川 からすやまくからすやまくお忘れ物などないよう、お願いします。(笛
を吹く) 出発進行！

【SE】電車が発車する。

○待合室には、土橋が登場(傘を持っている)

土橋 あれっ？行っちゃった？

美矢子

？

土橋

まずいなあ、間に合わなかった・・・おかしいなあ・・・

○土橋、人を探しに外へ出る。

土橋

雨、降ってるのに・・・

○望月文音、改札口から降りてくる。長谷川、文音の切符を受け取る

文音

あれっ、いない？また遅刻？

美矢子

？

文音

もう、電話してやる、

○文音、ポケットから携帯を取り出し、土橋に架電。

【SE】携帯の呼び出し音。

○土橋、携帯に出る。

土橋（声）

はい、もしもし、今、どこ？

文音

駅にいるよ、

土橋（声）

駅？ホント？さっき行ったけど居なかったよ

文音

さっき？今、降りたところだよ、

土橋（声）

今から、そっち行くよ

文音

待ってるよ！

○土橋、外から戻ってくる。（傘を持っている）

文音

ああ、いたいた何やってたの？

土橋

何やってたのって探してたんだよ、

文音

そうなんだ、ありがとう、

土橋

なんでこんなに遅いの？

最終電車は次の街へ

文音 電車、止まったんだよ、
土橋 また止まったんだ、大丈夫なの？

○長谷川、改札口から土橋を見ている。

土橋 あつ、電車動いて良かったね！（長谷川を気にして）
文音 どうしたの？大丈夫だよ、生きてるし、
土橋 だよねー！

○山口絵美、改札口から出てくる。長谷川、絵美の切符を受け取る。

美矢子 絵美、何やってたのよ、遅いじゃない！
絵美 お母さん、遅いって電車止まってたんだよ？
美矢子 もっと早くにこつちに帰って来れなかったのかって言ってるのよ！
絵美 仕方ないじゃん！仕事だし、

美矢子 一ヶ月も前に連絡してたのに仕方ないじゃないでしょう！
絵美 私の会社旅行代理店だよ？土日は休みが取りづらいの分かってよ！
美矢子 だからあれほど反対したのに！
絵美 私の人生なの！ケチつけないで！

美矢子 頑固者！
絵美 どつちがよ！
美矢子 結婚もしないでふらふらと！

絵美 Oh my god!
美矢子 何がオーマイガーよ！
絵美 Shut up ! Don't talk to me.

美矢子 親に向かつてなんですか！それと日本語で喋りなさい！！

○掴みあい、後ろ・前・後ろと揺れ前で離す

美矢子 今、車を移動させるから待ってなさい！

絵美 ふん！

美矢子

ふん！

○美矢子、外へ出る。

絵美

すみません、お見苦しいところお見せしてしまつて・・・

文音

大丈夫ですか？一緒に帰れますか？

絵美

大丈夫です。会うといつても、ああなんです、

土橋

しかし凄い攻防だったな、全然入るスキが無かつたよ、

文音

ちよつと（土橋に）

土橋

あつ、いつけねえ・・・

絵美

いえ、いいんです、本当の事ですから・・・私、旅をするが好きで旅行会社に入ったんです・・・初めてアメリカに行った時に、ロサンゼルスからラスベガスまでレンタカーで5時間掛けて移動したんです、どこまで行つても砂漠で、それに景色もでかくて、いろんな人種の人が一生懸命に生きているのを肌で感じた時に「自分がやりたい事やらないで、どうするんだ」って思つて、今の仕事に就いたんです、仕事を通していろんな国を周りました、井の中の蛙、大海を知らずとは、よく言つたもんです、価値観が変わりました、

文音

私は絵が好きで、パリのルーヴル美術館に入った時は感動しました、壁や天井に宗教画や神話画など、こーんなに大きくあつて、それを手で一枚、一枚、描いていたなんて思うと、昔の人の偉大さを感じました、ちよつと意表をつかれたのが、ダヴィンチのモナリザで意外に小さかつたんですよ（笑）

土橋

へえー、その話し初めて聞いた

文音

真一と付き合う前の話しだよ、

土橋

俺は海外に、まだ行つた事なくて、なんかニュースとか見てると怖いってイメージがある、

文音

それは、真一が実際に行つた事ないからだよ、行くと楽しいよ、

土橋

そうなのかなあ、日本は安全だし行かなくてよくない？

絵美

そうそう、私ね、そのラスベガスに行った時にホテルに泊まつて、ルームキーを部屋に忘れて外に出ちゃつて、困つてフロントに行つたの、その時は英語で話せなくて、片言で「ヘルプミー」「カードキールーム

最終電車は次の街へ

イン」「ヘルプミー」って言ったたら、2メートルくらいの黒人が現れて、部屋の前まで一緒に来てドアを開けてくれたんだよ、少し怖かったけど、優しいんだって思った、

土橋　へえー、それは凄い体験をしたんですね

文音　開けてくれて良かったですね、

絵美　それから英語を勉強して、いろんな土地、いろんな人、いろんな食べ物に出会えた、

文音　いいですねえ、私もまた海外に行きたい・・・

絵美　行きましょう！、今、楽しいプランを企画しているんです、

文音　今の仕事だと当分、行けそうにないなあ・・・

絵美　何のお仕事されてるんですか？

文音　私、美容師の仕事をしてるんです、時間ないし・・・

絵美　いつか行ける時が来ますよ、ねえ!?

土橋　一緒に行くぞ

文音　本当？

土橋　ああ、いざ海外へ！

文音　必ずだよ！

土橋　大丈夫だよ、

絵美　あつそういえば、自己紹介してませんでしたよね、私は、山口絵美って言います、絵のように美しいと書きます（笑）

文音　私は望月文音、あのね、だよね、そうだよね「ね」って言うのは、人を優しくするから「あやね」になったみたいです、

絵美　その由来いいですねえ！

土橋　俺は土橋真一、名前の由来は、その昔、高木真一って言う野球選手がいて、そこから付けたらしい、

絵美　よろしく願います、

文音・土橋　よろしく願います、

土橋　そういえば、俺もおかに腹たつ事ある、

文音　何？

土橋　電気、いつまで付けてるんのー早く寝なさいって、

文音　それ、真一が夜更かししてるからでしょ？

土橋　まあ、そうなんだけどさ、今、いいところなのについて思うし、子供じゃな

いんだから、ほつといてよってなる、

文音 私は、中学の時、お弁当に、ご飯とおでんが一緒に入ってたんだよ、おでんの汁がご飯に染みていてブルーになったよ、

土橋 俺は、弁当がカレーの時があつて、学校にレンジ無くてさ、どうしろつて思ったよ！

絵美 私も、おかすがシチューの時があつて冷めたシチューって美味しくないみんな何かしらエピソードがあるんだね、

文音 まだ、あるぞ・・・

土橋 ○美矢子、移動させた車から、絵美を呼ぶ。

【SE】車のエンジン音。クラクション。

美矢子（声） 絵美！帰るわよ！

絵美 それじゃ・・・

文音 それじゃ・・・

絵美 あっ、そうそう、もし旅がしたくなったら、ここに連絡ちょうだい！

○絵美、文音に名刺を渡す。

文音 ありがとう、

美矢子（声） 何やってるの、早くしなさい！

絵美 はーい！今、いくー！

○絵美、二人に会釈をして外へ出る。長谷川、待合室に戻ってくる。

【SE】車の発車音。

文音 行っちゃったね・・・

土橋 そうだね、

長谷川 あれっ、まだ居たの？早く帰らないと、明日、寝坊するよ、

文音 あっそうだ、明日も早朝からヘアカットの勉強会があるんだ、

最終電車は次の街へ

土橋 そうなの？それじゃ早く帰ろう

長谷川 そうそう、明日も早い、

文音 真一、帰ろう！駅長さん、また明日ね！

長谷川 また明日！

土橋 ウィッス！

長谷川 ウィッス！

○文音、土橋、外へ出る。

長谷川 さてと、こつちも片付けますか・・・

○幸恵登場。

幸恵 長谷川さん！

長谷川 あれっ？どうしたんですか、夜食は受け取りましたよ、

幸恵 違うの、今日、雨でお客さん少ないから、夜食、うちの店で食べなさいよ

長谷川 えっ！そうなんですか？

幸恵 そう、温めて食べた方が美味しいから、

長谷川 そうなんですな、カレーの煮付けは温めた方が美味しいですよね、

幸恵 中身ね、違ってたの、

長谷川 夜食の中身は何ですか？

幸恵 カレイの煮付けじゃなくて、カレー、

長谷川 カレイ？

幸恵 カレイじゃなくてカレー

長谷川 カレイ？

幸恵 煮付けのカレイじゃなくて、煮込みカレー、

長谷川 煮込みのカレイ？

幸恵 だから魚のカレイじゃなくて、ポークのカレー、

長谷川 ポークのカレイ？

幸恵 カレー、カレー、カレー、

長谷川 カレイ、カレイ、カレイ

幸恵

カレー、カレー、カレー、

長谷川

カレー、カレー、カレー、

幸恵

だからカレーよ！

長谷川

カレー？

幸恵

そうカレー、

長谷川

えっカレー、

幸恵

そうカレー

長谷川

あつ、カレー、

幸恵

そうカレー！温めてあげるから終わったら寄りなさいね！

長谷川

絶対、寄ります！

○幸恵、外へ出る。

長谷川

冷めたカレーは美味しくない！さあ、片付け片付け・・・

○長谷川、帰り支度をする。

シーン2

【土曜日】

【SE】夜の虫の音。

○ベンチに海江田が一人、文庫本を読んでいる。

【SE】踏切りの警笛が鳴る。貨物列車の通り過ぎる音がする。

【SE】時計の音がボンと鳴る。

海江田

10時かあ…。

【SE】踏切りの警笛が鳴る。電車が到着する。

長谷川

からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます。ありがとうございました、

長谷川

(笛を吹いて) 出発進行!

【SE】電車発車。

○文音と土橋が改札から出てくる。長谷川、二人の切符を受け取る

長谷川

はい、はい、切符、切符、

○海江田、二人を気にしながら、文庫本を読んでいる。

文音と土橋、テーブル席に着く。

文音

いやぁーあのカフェよかったなぁー

土橋

そうでしょ、あそこのワクワクセット最高だよ、まずナポリタン、玉ねぎ、ピーマン、ベーコン、それにたつぷりのケチャップ、シンプルなんだけど美味しいんだよね、

文音

セットのハンバーグにかけてあるソースもいい味出してたよね、味噌汁もついて600円は、学生に優しい!

土橋

ありがたいよね!それに、あの店のオムレツも美味しかっただろ、うんうん、

文音

あそこのオムレツは専用のフライパンがあつて、新鮮な卵を使つて、泡立て器を使つてよくかき混ぜるんだ、

文音

だから美味しいんだね、そうそう、デザートのアチーズも美味しかったなぁー滑らかな口溶け、それでいて後味はさっぱり、チーズケーキは日本人にとって王道だよな、

土橋

クリーミーさがいいよね!

文音

それに一緒に飲んだダージリンは柑橘が際立って爽やかな風味で、秋の森のようー

海江田

あのを・・・

○文音、土橋、海江田を見る。

海江田

その・・・

○文音、土橋、真顔、

海江田

レアチーズは、どこで食べたんですか？

土橋

ああ、キャンパスの中にあるカフェですよ、

海江田

キャンパス、

土橋

そう烏山大学の中にあるカフェ、

海江田

烏山大学は何処にあるんですか？

土橋

山の上にありますよ、車で30分くらいのところです、

海江田

車で30分・・・車、持ってないしなあ・・・

土橋

一緒に行きましょうか？乗せていきますよ！

海江田

いや、大丈夫です、仕事があつていけない・・・

文音

来週の火曜日、休み取れないですか？私、美容室の勉強会無いし、三人で行ったら楽しくないですか！あつ、紹介遅れました、私、望月文音つて言います、美容師やつてます、

土橋

俺は、土橋真一、烏山大学4年、一浪なんだけどね

文音

それは言わない、

土橋

あつ、そうか、

海江田

僕は海江田 信、工場勤務です、

文音

何工場ですか？

海江田

隣駅のビール工場、

文音

へえーそうなんですね、

土橋

ビールか飲みたくなるね、

文音

こーらあ、運転あるぞ！

土橋

あつ、そうだった、

文音

海江田さん、火曜日、行きませんか？

海江田

火曜日、休めるかどうか聞いてみる

文音

それじゃ、あの黒板に伝言残してください！

海江田

伝言？

文音

ほら、これ見てください、こうやって皆んなこれで、やりとりしてるんです、

海江田

あつ、あー、分かった、

最終電車は次の街へ

土橋

あつ、これ、こないだの消してなかった

文音

ちゃんと消さないよ、これも！これも！そしてこれも！さらにこれも！ほとんど真一のじゃない！みんなが使うのよ！

土橋

わかったよ！ちやつんと消すよ！、ああ、これは昨日の山田とのやつ、これは、一昨日の川上との釣りの約束、ああ、これは一週間前の和太鼓サークルの飲み会だ！

○土橋、ぶつぶつ言いながら黒板を消す。

海江田

あのう・・・

○土橋、黒板を消している。海江田、土橋の背後に立つ。

海江田

あのう！

土橋

えっ？（振り向く）うわあああ！！

海江田

大学の友達・・・

土橋

えっ？何っ？

海江田

大学の友達って何人ぐらいいるんですか？

土橋

友達？・・・何人？・・・数えた事ないなあ、

文音

真一は、知り合い多いよね、

海江田

そんなにいろんな人と付き合っていたら疲れないですか？

土橋

疲れる、別にそんな事ないよ、

文音

海江田さんは？友達といて楽しくないんですか？

海江田

そんなに友達多くないし・・・それに最近、越してきたばかりだし・・・

文音

前にいたところには友達いないんですか？

海江田

・・・いろんなところを転々としてるので仲良くなっても、それつきりつてなっちゃって・・・

土橋

連絡してみれば？今、元気でやってるの？って電話しちゃうとか、

海江田

今更、電話しても、相手も僕の事なんか忘れてるだろうし・・・

文音

そんな事ないですよ！覚えてますって！

海江田

なんでそんな事わかるの？

文音

うちのお店に、8年ぶりに来たお客さんがいて、私の事覚えていてくれ

たんですよ！感動じゃないですか！シャンプーしか担当しなかったのに、それでも私の事、覚えてくれたんです！

土橋 それ凄いいね！よく覚えてるなあ！

文音 だから連絡してみましようよ！きつと喜びますよ！

海江田 でも連絡しても、簡単に会えるわけじゃないし・・・

文音 そうかなあ、会えないかなあ、

土橋 いつでも会える奴だけが友達じゃないよ

文音 おつ、いい事言うねえ！

土橋 俺も、小学校の同級で引越した奴いるけど、そいつとは今でも電話で話しするよ、数年に一回しか会わないけど、俺は友達だと思ってるよ、

海江田 そつ、そつかなあ・・・

文音 そうだ、駅の電話貸してもらってかけちゃえば！

土橋 おつ！それいいねえ！

海江田 でも、誰に掛けるんだよ！

土橋 掛けたい奴に掛けたらいいんだよ！

文音 ほら、ここに電話あるよ！

○土橋、海江田を連れてくる。

海江田 んー・・・

文音 ほら、頑張つて！

○海江田、受話器を取ろうとし、ためらい止める。

海江田 やっぱ無理だ！

○長谷川、登場。口笛吹きながら、張り紙を変える。

文音 ねえ、どつかで聞いた事ある曲じゃない？

土橋 えつ、そう？

海江田 俺も、聞いたことない、

文音 ちょっと待って、駅長さん、それ何の曲ですか？

○長谷川、作業をやめて振り向く。

長谷川 何でしょう？

文音 その口笛の曲、何の曲ですか？

長谷川 口笛？ああ、四季の歌ですよ、

文音 四季の歌？

長谷川 そう、♪春を愛する人は心清き人♪って

文音 ああっ思い出した！四季の歌懐かしい！

海江田 確かに四季の歌のメロディーですね、

長谷川 四季の歌は、1963年頃に作られたらしく口伝えで広まりました、

文音 よく小学校で歌ったよね、

土橋 春、夏、秋、冬ってあって、

長谷川 四季それぞれを愛する人の性格を表現していて、

文音 友人、親、恋人が出てくる、

海江田 メロディーはシンプルだけど、何処か懐かしいですよね、

○文音、四季の歌を唄い始める。

文音 ♪春を愛する人は心清き人 すみれの花のような僕の友達♪

ああっ思い出した、小学校に戻りたいなあー

土橋 いいねえー

文音 ♪夏を愛する人は心・・・心・・・心、何だっけ？

海江田 心強き人、岩を砕く波のような僕の父親、

文音 凄い！覚えてる！海江田さん、夏のところの歌詞、覚えてましたね、

海江田 そうだね、夏の歌詞は印象のに残っていた

文音 へえー、何ですか

海江田 うちの父親は怖くてさ、茶の間で一緒にテレビを見ていても、

お互い何も話もしないんだ、僕は早く何処かへ行ってくれーっ

て思ってた、牛乳パックあるでしょ、あれを母親が反対から開

けただけで怒って泣かすんだ、母親は家を飛び出して近くの川

で泣いてるんだ、大人って理不尽だなって思った、

文音 そうなんです、

海江田 弟が生まれるときに僕は3歳で、母親の実家で過ごしていて一人で遊んでいたら、父親に「お前はお兄ちゃんになるんだからしつかりしなさい」って言われた時「自由じゃない、我慢するんだ」ってなった、だから父親っていう歌詞を印象的に覚えていたんだ、

文音 でも凄いですよね、3歳の出来事を覚えてるなんて、

土橋 それ凄いなと思う、俺、3歳の時の記憶ないもん

長谷川 家族とは密接な関係ですからね、いい事も悪いお事も全部記憶に残ってますよね、

文音 そうだ、昨日、テレビ付けてたらNHK教育で「みんななかよし」がはじまって最後まで観ちゃった！

土橋 俺も子供の頃見てた、午前中の教育番組って楽しいんだよね、

長谷川 「みんななかよし」私も見てましたね、学校のいろんな出来事を描いていて面白いですよ、

○文音 「みんななかよし」を歌い出す。

文音 ♪くちぶえ吹いて空き地へ行った 知らない子がやってきて遊

ばないかと笑っていった！

ひとりぼっちはつまらない 誰とでも仲間になつて仲良しになろう！

土橋・長谷川 ♪くちぶえ吹いて空き地へ行った 知らない子はもういない

みんな仲間だ仲良しなんだ♪

文音 わぁー懐かしい！

土橋 元気出るよね！

長谷川 小学校の淡い思い出が蘇りますね！

海江田 ……

○文音、土橋、長谷川、盛り上がる。幸恵、登場。

幸恵 誰ですか？口笛吹いたのは！

長谷川 ヤッベ（小声で）ああ、そうだホームの点検があつたんだ

○長谷川、改札からホームに入る。

幸恵 夜、口笛吹くと蛇が出ますよ、

海江田 あの・・・

幸恵 あなたなの口笛吹いたのは？

海江田 いや、僕じゃありません、

幸恵 じゃあ、何？

海江田 その・・・夜、口笛吹くと蛇が出るって迷信ですよ？

幸恵 そうね、

海江田 だったら何でヘビが出るんですか？

幸恵 蛇って「じゃ」とも読めるでしょ「蛇」は道を外れるという意

味であって、夜に口笛を吹く子供は道を外してしまうつ
てというのが由来ね、

文音 へえー面白い！日本にはいろんな迷信があるよね、

土橋 そうそう、いまだに霊柩車が通ったら親指隠せて、あれ、い
つも守ってるよ、

文音 霊柩車の運転手は親指隠しながら運転してるのかなあ、

土橋 確かに、親指隠してるでしょ、

幸恵 それは一理あるわねー

一同 どつと笑う

文音 夜に爪を切ると親の死に目に会えない、

土橋 ああ、あるね、夜が長い国は大変だね、

幸恵 食べてすぐ寝ると牛になる、

文音 あった、あった、本当に牛になったら怖いよね、

海江田 北枕で寝てはいけない、

土橋 よく言うよね、北極の近くに住んでいる人は、どうなるんだろう？

文音 北極でも北はあるし、南はあるわよ！

土橋 あっ、そっか、

幸恵 雷が鳴ったらへソを隠せ、

文音 聞いた事あるけど、何で隠すんだろう、

海江田 三人で写真を撮ると真ん中の人が早死にする、

最終電車は次の街へ

三人 うんうん、

土橋 嘘を付くと閻魔様に舌を抜かれる、

三人 うんうん、

幸恵 秋茄子は嫁に食わすな、

三人 ああー、

文音 牛乳を飲むと背が伸びる、

三人 はいはいはい、

海江田 くしゃみをするとう誰かに噂されている、

三人 確かに、確かに、

土橋 鏡が割れると不幸が起こる、

三人 あるあるある、

幸恵 茶柱が立つといいことがある、

三人 言ってた、言ってた、

文音 人を手のひらに3回書いて飲むと落ち着く

三人 よくやる、よくやる、

文音 迷信って昔からあって沢山あるけど、ついやってたり信じちゃうよねー

一同 どつと笑う

海江田 僕、迷信にすごい影響されてた・・・

幸恵 あっ、夜食忘れた！いけない、いけない

○幸恵、外へ出る。すれ違いで泰子登場。

文音 こうして出してみると迷信って、いっぱいあるね、

土橋 科学的根拠がないけど、そうなのかなって思っちゃうよね、

○泰子、海江田に気づき話しかける。

泰子 あっ、海江田さん偶然ですね！お仕事終わったんですか？

海江田 いや・・・

文音 お知り合いですか？（海江田に）

海江田 ちよつとね・・・こちら保険の営業をされている・・・

泰子 茂木泰子って言います、よろしくお願いします、

最終電車は次の街へ

文音 私は望月文音、美容師やっています、
土橋 俺は土橋真一、大学4年です、一浪しています、
文音 また言った、
土橋 本当のことだから仕方ないじゃん、
文音 まあ、そうなんだけど、
泰子 二人とも、お付き合いしてるんですか？
海江田 ちよつといきなり、そんなこと聞いて、
泰子 いきなりですか？いけませんか？
海江田 そうじゃないけど・・・
文音 はい、お付き合いしてますよ、
土橋 改めて言われると恥ずかしいなあ、
泰子 聞けてよかったです、
文音・土橋 えっ!?
泰子 取つてもお似合いだから「実はお付き合いしてないです」なんて言われ
たりするのがショックじゃないですか、
文音 そんな、
土橋 お似合いだなんてー
泰子 気がかりから自由になるには、早く聞いちゃう事が一番です、教えてく
れて、ありがとうございます、で、三人で何やってたんですか？
海江田 三人じゃなくて、四人いたんだよ、
文音 そうそう、小料理池沢の幸恵さんだよ、
泰子 そうでしたか、小料理屋さんだったんですね、
文音 お袋の味って感じのお店で料理も美味しいんですよ、
泰子 お袋の味はいいですね、
文音 これから一緒に行きませんか？
泰子 あっ、いえ、私は・・・
文音 肉じゃがのジャガイモはホクホクして美味しいんですよ、
土橋 あっ、そうだよ、みんなで行こう！
文音 海江田さんも行きましょう！
海江田 あっついやつ、僕は・・・
文音 予定ありますか？
海江田 この後、夜勤でき、仕事あるんだ、

土橋 それは残念！

泰子 海江田さん、夜勤もあるんですね、

海江田 金土は夜勤やる奴いなくて、どうしても出てくれって言われて断れなく
つてさ……

文音 海江田さん頑張ってください！

土橋 社会に出たら大変なんだなあ、

文音 余計な事言わないの！ごめんさい、気が利かなくて、真一も来年、社
会人になるんでしょ

土橋 まあ、そうだけどさ、

海江田 いいよ、本当のことだから……

泰子 海江田さん……

○長谷川、待合室に登場。

長谷川 もうすぐ最終電車が到着しますよ！

泰子 乗らなきゃ！

海江田 あっ、僕も！

○長谷川、改札口に立ち切符を切る。

長谷川 切符、拝見！

文音 海江田さん、火曜日、休み取ってくださいね！

土橋 おう！一緒に美味しいもの食べよう！

泰子 火曜日、何かあるんですか？

海江田 大した事ないよ、

○泰子、海江田、ホームへ移動。

【SE】踏切の警笛が鳴る。最終電車が到着。

長谷川 からすやま〜からすやま〜ご乗車ありがとうございます

○長谷川、笛を吹く。

長谷川

出発進行！

【SE】電車発車。

文音

行っちゃったね、私たちも帰ろう、

土橋

おう！帰ろう、帰ろう、

○文音、土橋、外へ出る。

○絵美、美矢子が降りてくる。絵美、美矢子、テーブル席に座る。

美矢子

お父さん、ついこの間まで元気だったのにね・・・あつという間に死んじゃった・・・

絵美

もつと早く来ればよかった・・・

美矢子

こればかりは仕方ないわ・・・

絵美

でも私はお父さんが元気な時に会いたかった・・・

美矢子

絵美、やめましょう、過去を悔やんでも前に進まないわ、

絵美

・・・そうだよね、過去は変えられないんだよね・・・

美矢子

・・・お父さんは帰って来ない、私たちがしつかりしないと、

絵美

私ね、最近気づいたの、誕生日プレゼントもらっても実は嬉しくないって

美矢子

あら、どうして？

絵美

小学2年の時、自転車が欲しくて、お母さんに買って欲しいって言ったことあるの覚えてる？

美矢子

そんなこと言ってた？

絵美

お父さんに頼みなさいって言われて、満を尽して「自転車が欲しい」って頼んだら、お父さんなんて言ってたと思う、

美矢子

えっ、なんて言ったの？

絵美

「何で買ってあげなきゃいけないんだ」って怒られた、次の日、学校から帰ってきたら玄関先に、自転車が置いてあって、お母さんに聞いたたら、お父さんが用意してくれたんだよって、だけど欲しかったのは黄色の

最終電車は次の街へ

美矢子
自転車で青じゃない、渋々、その自転車に乗ってた、だから、それ以来人からプレゼントされても嬉しくない自分が居るんだって気づいた、そう思ってたんだ、

絵美
小さい頃、お父さんに耳かきしてもらってた時期があって、お風呂から上がると、お父さんの膝枕で耳かきしてくれるんだけど、それがヘタクソでさあ、めっちゃ痛くて終わるまで全身に力が入ってた、その名残りなのか、マッサージとか、歯の治療とかで、首に力が入ったりして、すごく疲れたのを覚えてる、

美矢子
お父さん、絵美のことを気にかけていて、あれでも色々考えてたのよ、小学生の頃、あなた不思議の国のアリスが好きでよく青いエプロンスカートを着てたでしょ、それでお父さん、絵美は青が好きだと思ってるの自転車を用意したのよ、耳かきも毎日しなくていいって言ったのに、自分がやるんだって聞かなくて、お父さん不器用だから分かってあげてね、

絵美
お父さん・・・

○幸恵登場。長谷川に夜食を持って来たと呼びかける。

幸恵
長谷川さん！夜食、持ってきたわよ！今日は、ケチャップたっぷりのナポリタンよ！

○長谷川、待合室に戻ってくる。幸恵から夜食を受取る。

長谷川
いつもありがとうございます！今日はナポリタンなんですネ、すぐに食べないとすね！かしこまりました！！

○長谷川、美矢子、絵美の様子を伺う。

長谷川
美矢子さん、どうしましたか？

美矢子
駅長さん、うちの主人が亡くなったんです・・・

幸恵
ええー！

長谷川
このたびはご愁傷様です、お悔やみ申し上げます、

美矢子

ご丁寧に、ありがとうございます。

幸恵

そうなると明日はお通夜になるわね、町内会には私から連絡するし、みんな手伝うから気をしつかり持つのよ！

美矢子

幸恵さん、ありがとうございます！

幸恵

絵美ちゃんも、辛いだろうけど、お母さんを支えてあげてね！

絵美

はい、ありがとうございます！

幸恵

二人とも大変だったでしょ、お腹空いてない？うちに来なさい、何か温まるものでも食べさせてあげるから、

長谷川

幸恵さんの料理は美味しいですよ！私なんか毎日いただいていますから

美矢子

絵美、どうする？

絵美

でもご迷惑じゃあ・・・

幸恵

いいのよ！明日から大変なんだから精力付けないと！

長谷川

そうです！そうです！

美矢子

それではお言葉に甘えて、お邪魔します！

幸恵

それじゃあ、行きましょ！行きましょ！

○美矢子、絵美、幸恵、外へ出る。

長谷川

・・・あつナポリタン！！冷めちゃう！冷めちゃう！

○長谷川、駅長室に戻る。

シーン3

【日曜日】

【SE】小鳥のさえずりが聞こえてくる。踏切の警笛が鳴る。電車が到着。

長谷川

からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます！

○長谷川、笛を吹く。

長谷川

出発進行！

○海江田が改札口から出てくる。長谷川、切符を受け取る。

○海江田、開放感でベンチに腰掛ける。

長谷川 夜勤、お疲れ様です。お仕事、どうでしたか？

海江田 いやー、疲れましたよ、

長谷川 夜勤だと眠くならないんですか？

海江田 めちゃくちゃ眠いですよ、特に朝、5時とか、6時とか、半分寝てます。

そういう駅長さんは昨日、最終電車が終わってから帰って、始発から働いているんですよ？

長谷川 実は終電の後仮眠してるんです、そしてもうすぐ帰ります、週末は私が

夜勤でして日中は別の職員が来るんですよ、

海江田 へえー、そうなんですね、知らなかったー

○文音、真一、登場。

文音 やばいやばい、遅刻しちゃうよ！

土橋 ごめん、ごめん、また寝坊しちゃってー

文音 あっ、駅長さん、上り電車、後、どのくらいで来ますか？

長谷川 (時計を見て) もうすぐ到着しますよ！

文音 ああ、良かった間に合った！

土橋 助かった！

文音 真一！

土橋 あっ、ごめん！

文音 あれっ!?海江田さんじゃないですか、夜勤明けですか？

海江田 まあ、そうだけど、

文音 今日、催物があつて、お客様がスタイリングで、私を指名してくれたんです、その準備で急がなきゃなんです、

海江田 そっか大変だねー

文音 あっ、もうこんな時間、海江田さん、また今度！

海江田 ああー

土橋 それじゃあ、帰ってくる時、連絡してね！

最終電車は次の街へ

○長谷川、文音の定期を確認、文音、ホームへ移動。

【SE】踏切の警笛が鳴る。上り電車が到着。

長谷川
からすやまくからすやまく乗車ありがとうございます。ありがとうございました。

○長谷川、笛を吹く。

長谷川
出発進行！

【SE】電車発車。

土橋
あつ、俺も行かなきゃ！

海江田
あのおう、これから大学ですか？

土橋
今日は、日曜なんで大学休みで、友達と釣りに行くんですよ、よかったですら、海江田さんも来ませんか？

海江田
ごめんなさい、今日は疲れているんで帰って寝ます、
土橋
またタイミングがあつた時に誘いますね！

○土橋外へでる。泰子、長谷川に切符を渡す。長谷川、切符を受け取る。

泰子
海江田さん、おはようございます！

海江田
おはようございます、こんなに朝、早くから仕事ですか？

泰子
はい！私のお客様とマイクロバスを借りて、りんご狩りに行くんです！
画期的な企画でしょ！

海江田
へえー、りんご狩り、行った事ないなあーどんな事やるんですか？
泰子
りんご農園の、もぎたてのリンゴをその場で食べるんです！香り高くジュー

シーな、鮮度の高いリンゴを丸かじり！この秋空で食べるのはまた
格別ですよ！そして、その後は、場所を移動して皆んなでバーベキュー

泰子
ーです！お肉を焼いて食べます！
海江田
バーベキューもやるんだ、

泰子
お客様のリクエストなんですよ！そして最後はー

海江田

まだあるの!?

泰子

温泉!近くの温泉に入って、日頃の疲れを取りに行くんです!海江田さんも、どうですか?一緒に行きませんか?旅は道連れって言うじゃないですか!

海江田

夜勤明けで疲れてるから帰って寝ます、

泰子

あああ、残念!、次は、仕事が休みの時に誘いますね!じゃあ行つてきます!!

○泰子、外に出る。

長谷川

海江田さん大丈夫ですか?早く帰って寝たほうがいいと思いますよ!

海江田

あつ、はい・・・

○幸恵、登場。

幸恵

長谷川さん!お弁当持ってきたわよ!

長谷川

ありがとうございます!幸恵さん、いつもすみません!中身は何ですか?

幸恵

フレンチよ!フレンチトーストよ!

長谷川

フレンチ・・・トースト・・・

幸恵

ジャムとクリームがあるから大丈夫よ!

長谷川

・・・パン・・・

○海江田、何やら取り出す(手紙)

幸恵

あらっ、どうしたの?

海江田

昨日、母親から小包が届いて、その中に手紙が入ってました、

幸恵

せつかくなんだから読んでみて

海江田

ええっ!ここで!?

幸恵

いいから早く!

海江田

わかりました・・・弱ったな・・・(手紙を読む)

母(声)

「拝啓 信へ 新米を送ります。信はカレーライスが好きだったと思い、

野菜も入れました、お肉は傷むから自分で用意して作って下さい。お母さんは昨日、お婆ちゃんの薬をもらいに病院へ連れて行きました、その後、ホームセンターで、カナリアのエサを買いました。そして二人でお昼を食べてスーパーで買い物し、お婆ちゃんを送って届け団地に着いてからはすっかり疲れてしまいました。荷造りしたのですが腰が痛くて昨日はそれ以上出かける気になりませんでした。最近、運動してないので、身体を動かさないといけないですね。色々と書今日いてしまいました。この辺で又ね。身体を大切に、元気で無理はせず働いて下さい。

した、
母より」

○海江田 涙ぐむ。

幸恵 優しいお母さんじゃない、大切にしないとダメよ。あなたも手紙書いたら、お母さん喜ぶわよ。

長谷川 それはいいですね、

海江田 僕、どうしたらいいかわからないよ、

幸恵 少しづつ、お母さんの話しを聞いてあげて、

海江田 話し……

幸恵 話し、よく聞いてあげるの、そうしたら、お母さんが何を言いたいか、何をしたいかが分かるようになるわ

長谷川 お母さんに電話、してみたら、どうですか？ この電話、使っていていいですよ。

海江田 電話……

○海江田、黒電話の前に行く。長谷川、幸恵、海江田を見守る。

○海江田、電話を掛ける。

【SE】呼び出し音。

母（声） はい、海江田です。

海江田 あっ、母さん、信です……

○吉田拓郎の「今日までそして明日から」が流れてくる。

○長谷川、幸恵、顔を見合わず。幸恵、外へ出る。長谷川、業務に戻る。
○海江田、すつきりした顔、一息ついて、外へ出る。

●照明●夕暮れ、そして、夜へと明かりが変わっていく。

【SE】夜の虫の音。踏切の警笛音。貨物列車の通り過ぎる音。

○海江田、登場。ベンチに座って小説を読む。絵美と美矢子が登場。

絵美 お母さん、水曜日には戻ってくるね。

美矢子 忙しいのに悪いわねえ、

絵美 大丈夫だよ。課長には話して、休み取ってあるから。

美矢子 そうお？頼りにしてるわよ、

海江田 どうかしたんですか？

美矢子 海江田さん、今日も仕事だったの？

海江田 いや、今日は、夜勤明けで休みです。

美矢子 そうなの、休みなら、今日は、お出かけ？

海江田 毎日の習慣で、この時間になると待合室に足が向いてしまつて・

絵美 お母さん、こちらの方は？

美矢子 この先の、ビル工事で勤務されている海江田さんよ、

絵美 はじめまして、母がお世話になっていきます。山口絵美といいます。

海江田 信といいます。それより、お父さん、良くなつたんですか？

美矢子 主人は、昨日亡くなりました、

海江田 この度はご愁傷様です。

美矢子 丁寧に、ありがとうございます、

海江田 なんて言ったらいいのか・・・これから大変ですよね、

美矢子 幸恵さんをはじめ、町内会の人が助けてくれるから大丈夫、

絵美 海江田さん、頼りない母ではありますが、今後とも、よろしく願います。
ます。

海江田 いや僕は何も・・・

絵美 こう見えて母は、寂しがり屋なんです、だから話してくれるだけで力付

けられるんです、声の影響力って凄いですよ、

最終電車は次の街へ

海江田

声の影響力・・・

絵美

実はあだし、こう見えて母とは、よく喧嘩するんです。電話でも会っていても、

海江田

はあ・・・

絵美

だけど、お互い言いたい事言って終わるんで、次の日はスッキリして仕事に打ち込めるんです。

美矢子

何、言ってるのよ、いつも落ち込んじゃうくせに

絵美

ねっ、こんな風に思ってる事、ストーレトに言ってくれるなんて、社会に出ると、なかなか無いですからね、

海江田

確かに、そうかも知れない・・・

絵美

だから喧嘩した後は、仲がさらによくなくなるんですよ、

海江田

僕は、親に言いたいこと言うのを諦めていたのかも知れない・・・

絵美

海江田さん、言いたい事言えないのは何も悪くはないです、たまたまかも知れないけど、親子の関係になったんです。愛し愛される関係になりましょう、

海江田

こんな僕でも人を愛してもいいのかな・・・

絵美

もちろん、ねえお母さん、

美矢子

そうよ、親子でジグザグした人生を歩んでもいい、パワフルで自由で自己表現豊でありますよう！

海江田

パワフルで？

美矢子

自由で

二人

自己表現豊か！

絵美

いいですね、それ、

三人

パワフルで自由で自己表現豊か！パワフルで自由で自己表現豊か！

○長谷川、待合室に戻ってくる。

長谷川

誰か、私を呼びましたか？

海江田

いや、呼んでいないですよ、ねえ？

美矢子

ええ、呼んでいないと思うわ

長谷川

変だなあ、確かに、聞こえたんだよなあ・・・

絵美

駅長さんの名前、なんて名前なんですか？

長谷川 私？はせがわゆたか

三人 ああっ！

長谷川 えっ、どうしたんですか？

三人 パワフルで自由に自己表現豊！

長谷川 あっ、それ！そういう事か！

【SE】踏切の警笛が鳴る。

長谷川 上り電車が来ますよ！

絵美 お母さん、また水曜日に来ます！

美矢子 うん、待ってるわ！

○絵美、切符を長谷川に見せる、長谷川、絵美の切符を切る

【SE】電車到着。

長谷川 からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます！

○長谷川、笛を吹く。

長谷川 出発進行！

【SE】電車発車。

美矢子 海江田さん、ここで失礼しますね、

海江田 なんでも手伝いますので言っして下さい！

美矢子 ありがとう！その時は伝言板に書いておくわね！

○美矢子、外へ出る。すれ違いで、文音がホームから降りてくる。

○長谷川、文音の定期を確認、文音、改札口から出てくる。

文音 あれっ!?海江田さん、今日も夜勤ですか？

海江田

今日は休み、

文音

何かの帰りですか？

海江田

いや、そんなんじゃないやなくて、毎日の習慣で、この時間になると本を読んでいるんです、

文音

ルーティンってやつだね！守ってるんだ凄い！

海江田

そうかなあ・・・

文音

海江田さん、真一見ませんでしたか？

海江田

いや、見てないよ、

文音

あいつ、また寝坊かー

○土橋、慌てて待合室に入ってくる。

土橋

ああつ、間に合った！

文音

真一、また寝坊？

土橋

いや、ちよつと弟に呼び止められてさー

文音

今日の釣りはどうだったの？

土橋

いやあー今日はね、結構、釣れたよ！小料理池沢に貢献したから、この後、食べに行こう！

文音

やったー！お刺身食べれる！

土橋

焼き魚かも知れないよ、

文音

絶対、刺身がいい！幸恵さん、お願い焼き魚にしないで！（お祈り）

海江田

今日は、ごめん！一緒に釣りに行けなくて・・・

土橋

大丈夫ですよ、気にしてないんで、

海江田

自分の事しか考えてなくて、折角、誘ってくれたのにー

土橋

軽く誘っただけだから、そんなに重くしなくて大丈夫ですよ！

海江田

だいたい誘いは断わるんだよ、それに行くデメリットがあるのかとか、それをやって何が楽しいんだとか、いつも損得しか考えてないんだー

土橋

まあ、それって普通だと思う、

文音

だいたい断っちゃうなんて、勿体ないね！

海江田

行っても楽しくない、行っても疲れるなんて思っちゃうんだ！

土橋

へえー、俺なんか誘われたら、どんな魚が釣れるかなとか、旨いもん食べれるかなとか、面白いもの見れるかなって想像するね！

文音 真一は、想像するの好きだよね！

土橋 いろんな事を想像すると楽しくなるし、話しも盛り上がるよね！

海江田 僕も楽しい事、考えるようにする！今度はなんでも誘って！行ける時は行くよ！

文音 凄いい！じゃあ明後日の火曜日は、鳥山大学に行つてランチできますか？

海江田 いく！工場長に休みもらうよ！

土橋 やつた！明後日、楽しみだね、それじゃあ、朝、十一時に待合室に集合しよう！

文音 楽しみだね！

海江田 (文音に) 誘ってくれて、ありがとう！

文音 いいえ、こちらこそ！

○泰子が待合室に入ってくる。

泰子 あれっ!?皆んな揃つて、何の相談!?

文音 泰子さんだ！今日もお仕事ですか？

泰子 今日は、お客様と、りんご狩りバスツアーに行つて来て、その帰りなの

土橋 へえー、りんご狩り、面白そう！

海江田 今日の朝は、ごめんなさい！

泰子 どうしたんですか？

海江田 そのバスツアーに誘つてくれたのに断つたりして・・・

泰子 気にしてないんで大丈夫ですよ！

海江田 それなら良かったー僕、自分の都合ばかり考えて、人にあまり興味が無かつた事に気づいたんだ、

泰子 気づけて良かったですね！中国の格言つて知っていますか？

海江田 いや知らないです、どんな言葉なんですか？

泰子 私も職場の先輩から聞いたんですけど、「鳥は空気が見えない、魚は水が見えない、人間は自分が見えない」人間は他人はよく見えても、自分が全く見えないようです、私も、海江田さんに言われて初めて気づきました、私はお客様の話しは聞くんですけど、聞くばかりで、最善のプランは提供できていなかったなって、

海江田 あれは、たまたまー

最終電車は次の街へ

泰子

たまたまでも、人が見えてないものを言うって、それなりに勇気がいる
と思います、海江田さんは、もつと周りの人の行動に違いを作れる人だ
と思います、だから自信持つて下さい！

海江田

ありがとうございます！僕はいつも駄目だ、出来ない、一人だ、自分な
んか必要ないって思っていたから、人に興味持つの辞めてしまっていた
んだ、もつと人と関わって、まだ知らない自分を発見したい！そして人
を愛せる自分になりたい！

三人

おおおっ！

泰子

凄いですよ海江田さん！その「言葉」忘れないで下さいね！

文音

「私は美容を通して世界の人々を楽しませる！」

三人

おおおっ！！

土橋

いいね！「俺は世界の人を釣りで楽しませる！」

三人

おおおっ！！

○4人、和気あいあい。幸恵登場、長谷川に夜食を持ってきた

幸恵

長谷川さん！お夜食、持ってきたわよ！

○長谷川、待合室に来る。

長谷川

幸恵さん、ありがとうございます！今日は何が入ってるんですか？

幸恵

今日の夜食は・・・おでんよ！

長谷川

冷めないうちに食べないと！

一同、

(どつと笑う)

長谷川

なんか皆さん、いい顔になりましたね！何かあったんですか？

泰子

駅長さんには秘密です！ねえ、海江田さん！

海江田

いや、駅長さんにはお世話になっっているの、後でこっそり教えます！

泰子

こらっ！海江田！

一同

(どつと笑う)

文音

ほらっ、見て満月だよ！

土橋

ホントだ！

泰子

綺麗ですね！

長谷川

46億年前から、あそこにあるんですよね!?

幸恵

そうよ! 私たちは、それに比べたら、まだまだ新参者なのよ

海江田

新参者かー、

【SE】踏切の警笛が鳴る。

長谷川

あつ、電車到着します!

泰子

帰らないと!

○長谷川、泰子の切符を切る。

泰子

それじゃあ、皆さん、また明日!

【SE】電車到着。

長谷川

からすやまくからすやまくご乗車ありがとうございます!

○長谷川、笛を吹く。

長谷川

出発進行!

【SE】電車出発。

幸恵

それじゃ、この後、うちに来て真一くんが釣った魚を食べましょう!

文音

やった! 食べたい! 食べたい!

土橋

幸恵さん、俺も手伝いますよ!

幸恵

そうお? それじゃあ頼むわね、

土橋

よっしゃ行こう!

文音

海江田さんも、行きましょう!

海江田

後から行くよ!

○幸恵、土橋、文音、外へ出る。長谷川、待合室に戻ってくる。

長谷川

あれっ!?皆んないない!?

海江田

幸恵さんの、お店に行きました、

長谷川

海江田さんは、行かないんですか?

海江田

行きます!

長谷川

それじゃ、早く行ってあげて下さい、皆んな寂しがりますよ!

海江田

えっ!?

長谷川

だって海江田さんは、私達の仲間ですから!

海江田

はい!光栄です!

カーテンコールへ続く。

終演